

中学校活動例 A 「振り返りの学習」

項目 (A 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム) 観点 (①居場所づくり)

〔活動内容〕

放課後等に教師の支援や励ましを受けながら、自分が必要と考える内容を学習します。

ねらい	・生徒の学習上のつまずきや自信がない部分を解消し、安心して授業を受けられるようにすることで、落ち着いて学習や活動に取り組むことができるようにする。【居場所】		
対象	全学年	教育課程上の位置付け	(放課後等の活動)
指導者	全教師		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
4月～	○「振り返り学習」を実施する日時、教科等を設定し、各週の実施予定を提示する。	□生徒が参加しやすい時期や場所を考え、学習環境を整えるなど、生徒が安心して参加できるよう配慮する。 □教科の学習ガイダンスの際の相談内容から実施が必要と思われる教科を重点的に実施する。	
通年	(放課後等の振り返りの学習の実施) ○授業の分からないところ、苦手なところなどを中心に、学習計画を立てる。 ○教師が提示した課題や作業の他、理解が進んできたら、生徒自身が設定した課題にも取り組む。	□実際の学習だけでなく、学習や進路の相談についても受け付ける。 □主体的に学習に取り組む習慣が身に付けられるよう、家庭での学習の進め方について指導する。 ■学習に対する達成感を味わい、不安が減少して落ち着いて学ぶことができる。【居】 ■落ち着いて分からないことや苦手なことにも進んで取り組むことができる。【居】	
7・10 ・12月	○取組の検証	□放課後等の振り返りの学習の成果として、生徒の授業中の学習状況や学習内容の定着状況について教師間で確認し、取組を改善する。	

生徒による学習の振り返り (例)

今週の振り返り

○月○日(○) 名前()

- ・最後まで粘り強く取り組むことができましたか。
- ・苦手なことや新しいことにチャレンジしようとしたか。
- ・自分の得意なところ、苦手なところが分かってきましたか。

来週の計画を記入しよう

教師による振り返りの観点 (例)

- ・生徒のニーズに応じた活動になっているか。
- ・活動日時や場所は、生徒が参加しやすいものになっているか。
- ・教科の他、様々な活動を取り入れ、生徒が達成感を味わうことができているか。
- ・生徒が、学びの成長を確認することができるか。
- ・授業中の生徒の活躍や家庭での主体的な学習につながるよう、学習計画立案が支援できているか。など

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 「居場所づくり」をねらいとした活動であることから、次のことに留意して、生徒が主体的に学習に取り組めるようにします。
 - ・「振り返りの学習」では、生徒が達成したことを積極的に褒め、安心して学習に取り組めるようにすること。
 - ・日常の授業との関連を図り、授業での学びを支援し、学級での存在感や充実感を味わわせること。
- 学習した内容を家庭に知らせるなどして、家庭学習の習慣化について、家庭の協力を得られるようにします。
- 生徒が落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学習内容の定着の他、学習の方法や進路等の相談も併せて行うことで効果を高めるようにします。
- 必要に応じて放課後の活動だけでなく、長期休業中の実施を検討します。

【関連する活動】

- ・望ましい生活習慣 (1-(1))、自主・自律 (1-(3))、向上心 (1-(5)) について考える (道徳の時間) など

中学校活動例A②「ユニバーサルデザインの視点の活用」

項目 (ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム) 観点 (①居場所づくり)

〔活動内容〕

生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を学級づくりや授業づくりに生かします。

ねらい	・友達と安心して関わるができるようにすることで、落ち着いて学習や活動に取り組むことができるようにする。【居場所】		
対象	全学年（事例は第1学年）	教育課程上の位置付け	（各教科等）
指導者	全教職員		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等	■主な評価
4月～	<p>【基本的な学習過程の確立】については、小学校活動例A②「ユニバーサルデザインの視点の活用」を参考にしてください。</p> <p>【話合いの基本的なルールの確立】</p> <p>○簡潔で具体的な指示や説明を行い、必要に応じて視覚的な情報を付加する。</p> <p>○場に応じた話し方や行動について、生徒が理解しやすいよう、SSTの手法を用いて、よい例と悪い例を示す。</p> <p>【学習内容に関わる指導方針の確立】</p> <p>○生徒が、試行錯誤をしたり、友達と話し合ったりしながら解決できるような課題を提示する。</p> <p>○生徒の誤答を取り上げ、誤答が正答につながることを丁寧に解説する。</p>	<p>□ルールに基づいた話合いが行われるようにする。</p> <p>□場に応じた適切な声の大きさや言動について、具体的な例を用いて説明する。</p> <p>□普段から間違いや失敗が許容されるような学級風土を醸成する。</p> <p>□その場で指導する必要がある場合は、否定的な表現とならないようにする。</p> <p>□誤答について、学級全体で真剣に考えさせ、正答を導くきっかけとする。</p> <p>■友達とかわかることの不安が減少し、落ち着いて学習や活動に取り組んでいる。【居】</p>	<p>・話している友達の方を向いて、話を聞く。</p> <p>・相手の意見は最後まで聞く。</p> <p>・相手の意見のよいところを見つけるようにしよう。</p> <p>・自分の間違いや失敗を素直に認め、相手の間違いや失敗を温かく受け止めよう。</p> <p>・なるほど、よく考えたね。どこで間違ったのかをよく考えてみよう。</p> <p>・隣の友達と話をするとき、先生が今話している声の大きさでも聞こえるよね。</p>
5月～	<p>○生徒が自らの判断で主体的に行動できる機会を設定する。</p> <p>○周囲の様子を見て自ら判断し、その場に適した行動ができる機会を設ける。</p>	<p>□友達との違いを気にし過ぎたり、劣等感を強くもったりすることのないよう、生徒一人一人の自己有用感を高めるようにする。</p> <p>□生徒が適切な判断や行動ができない場合は、気持ちが落ち着いていることを確認し、状況を整理しながら、どう行動すべきだったのかを考えさせ、納得できるようにする。</p> <p>■友達とのつながりを大切にしながら、友達と進んで関わろうとしている。【居】</p>	
	<p>・登場人物の行動についての自分の考えを交流する。(道徳の時間)</p> <p>・授業中のきまりを学級で考える。(学級活動)</p> <p>・地域の人々と一緒に地域清掃を行う。(生徒会活動) など</p>		

※本事例は、特定の授業ではなく、全ての授業において、教師が行う工夫や配慮について、教師の立場から示しています。

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 「自分が分からないこと」や「困っていること」を相手に伝えることができず、相手の立場やその場の状況を考えずに話す生徒に対して、本事例のように、ルールやきめ細かな指導の下、友達と関わる活動を充実させることにより、安心感や学級、学校への所属感を高めることができるようにします。
- 学級のすべての生徒の居場所づくりにつながるために、特別な教育的支援を必要とする生徒への指導や支援のノウハウを通常学級の授業づくりに生かすなど、通常の学級と特別支援学級を担当している教師が授業を参観し合ったり、協働して授業づくりを行ったりする取組を進めます。
- 小学校との引継ぎで生徒の状況やこれまでの支援や指導のポイントを確認し、支援の円滑な接続を図ります。

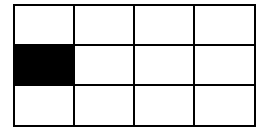
【関連する活動】

- ・活動例D「教育相談の手法を取り入れた学級づくり」(特別活動) など

※日々の授業や学級経営の中でユニバーサルデザインの視点を生かした取組ができるよう、生徒が協力して話合いを進める活動と関連を図ります。

中学校活動例B「ようこそ中学校へ」

項目 (ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム) 観点 (2絆づくり)



〔活動内容〕

生徒会が中心となって、中学校入学を前にした小学校6年生の児童を迎える活動を企画し、交流します。

ねらい ・異年齢での交流を通して、お互いを認め、かかわり合いながら活動することができるようにする。【絆】
 ・学校生活の充実に向け、好ましい人間関係を深めるため協力して活動に取り組もうとする自主的・自律的な態度を育む。【特別活動】

対象	全学年、(小学校第6学年)	教育課程上の位置付け	特別活動(学級活動(1)ウ、生徒会活動)
指導者	生徒会係、学級担任を中心とした第1、2学年の全教師、(小学校児童会係、第6学年の学級担任)		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
12月~	○生徒会が中心に集会の内容を考え、準備を進める。 ・学級からアイデアを募集する。 ・小学生にアンケートを行う。 ・招待状を作成し、小学校にもっていく。	□自分たちが小学生だった頃を想起させ、小学生が中学校に安心して入学できるようにするために伝えることを考えさせる。 □生徒会を中心にできるだけ多くの生徒が参加できる方法を工夫させる。	
2月	○小学校第6学年の児童を中学校に招き、『ようこそ中学校へ』集会を実施する。 ・中学校第1、2学年の生徒が学校紹介をする(VTR等を活用)。 ・児童の質問に答えたりする。 ・一緒にゲームをする。 ○集会終了後に、振り返りシートを用いて反省会を行う。	□各学級において、活動のねらいや内容等を学級役員に確認させる。 □当該活動の振り返りシートの結果については、顕著なものを全教師で回覧し、今後の指導に生かす。 ■集会の意義や自分の役割を理解し活動している。【特】 ■相手の立場や状況を考えながら、友達と協力し他の学年の生徒を認め支えようとしている。【絆】	
	○小学校第6学年の児童が作成した自己紹介カードを、中学校第1学年の生徒が中学校に掲示する。	□自分たちが小学生だった頃を想起させ、児童が安心して中学校に入学できるように必要なことを考えさせる。	

小学生に回答してもらうアンケート(例)

1 中学校に入学するに当たって、不安や心配なことはありませんか。何でもいいので教えてください。

2 中学校について先輩に教えてほしいことはありませんか。何でもいいので聞いてください。

※小学生のアンケートや生徒が小学生の時に書いたアンケートを引継ぎの資料として活用します。

集会終了後の振り返りシート(例)

1 この集会を終えた後の気持ちを書いてください。

2 あなたの周りに頑張っていたと感じた人を教えてください。またどのようなことを頑張っていたと感じたかも教えてください。

【名前】

【内容】

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 年度末の活動だけでは十分な効果が期待できないため、小学校6年生が中学校生活についての関心を高め、中学生との人間関係を深めるため、年間を通じて例えば、次のような活動を位置付けます。
 - ・中学校生活のよさを知ることができるよう「生徒会だより」を小学生にも配付する。
 - ・中学生が小学校に行き、合唱等を披露したり、地域清掃等で一緒に活動したりする機会を設ける。
- 「絆づくり」が中心となる活動であることから、生徒の主体的な活動となるよう集会のアイデアの他、アンケートや振り返りシートの内容も、生徒の意見を取り入れて作成します。
- 校区の小学校が複数ある場合は、入学予定の小学生が来校する体験入学日に実施するなど調整を図ります。

【関連する活動】

- ・友情(2-(3))、思いやり(2-(2))について考える(道徳の時間)
- ・「話すこと、聞くこと」に関わる学習内容(国語科)
- ・活動例C「入学式・卒業式の準備」(放課後の活動)など

※生徒が小学生に安心して中学校に入学できることを伝える取組を通して、協力してよりよい学校づくりに取り組むことができるよう、卒業式や入学式に向けた掲示活動と関連を図ります。

中学校活動例C「卒業式・入学式の準備」

項目 (ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム) 観点 (③環境づくり)

〔活動内容〕

感謝と思いやりの気持ちをもって、新しい生活に向けた卒業式と入学式に関わる掲示物を作成し掲示します。

ねらい	・ 掲示物の作成を通してこれまでの自分や集団の取組を振り返ることにより、全員が参加して新しい生活への希望や意欲をもつことができるようにする。【環境】		
対象	全学年、(小学校第6学年)	教育課程上の位置付け	(放課後の活動)
指導者	全教職員、(小学校児童会係、第6学年学級担任)		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
3月	<p>○生徒会が掲示の全体計画を考え、準備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級から掲示内容のアイデアを募集する。 ・掲示プロジェクトチームに参加する生徒を募集する。 ・各委員会や学級に役割を分担する。 <p>○卒業生は、中学校生活を振り返り、母校や後輩、保護者や教職員に感謝の気持ちを示すメッセージカードを作成し、在校生と一緒に飾り付ける。</p> <p>○小学校第6学年の児童が作成した自己紹介カードを、中学校第1学年の生徒が中学校に飾り付ける。</p>	<p>□できるだけ多くの生徒が参加できるように、掲示の場所や期間、分担等を工夫させる。</p> <p>□各委員会や学級において、活動のねらいや内容等を十分に確認した上で具体的な作業を進めさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☆この他にも、将来の自分に向けたメッセージや、新入生に母校のよさを伝えるメッセージを作成することが考えられます。</p> </div> <p>■思いやりや感謝の気持ちを込めて、新しい生活への希望や意欲をカードに表し、よりよい学校生活を築こうとする気持ちを高めている。【環】</p> <p>□各委員会や学級で掲示物を確認したり破損に気付いたら直したり連絡したりするなど大切にできるよう指導する。</p> <p>■卒業生・在校生・新入生等の多くの生徒や保護者が安心できる掲示になるよう考え、工夫している。【環】</p>	

アイデアを募集するアンケート (例)

祝・卒業・入学プロジェクト

1 卒業式・入学式に向けて、校内の掲示の場所、内容、方法等のアイデアはありますか。

あなたは、このプロジェクトにメンバーとして参加してくれますか。

YES ときどきなら NO

小学生の自己紹介カード (例)

先輩、よろしくお祈りします!!

☆名前 ○○○○

☆私はこんな性格です。

☆小学校のとき頑張っていたこと

☆中学校で頑張りたいこと

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 充実した掲示により所属意識を高め、よりよい学校生活を協力して築こうとする意欲や、これまでの「絆」の深さを確認し、新しくできる「絆」に向けた期待感を高めることができるよう、次のことに留意して、在校生中心の主体的な活動となるよう指導します。
 - ・ 掲示物の内容について、生徒会を中心とした在校生のアイデアを取り入れる。
 - ・ 掲示物の作成や掲示がねらいではなく、卒業生への感謝、新入生を温かく迎える気持ちとともに、仲間と協力しながら作業を行う中で、今後の生活への希望や意欲をもつことが大切であることに気付かせる。

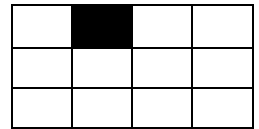
【関連する活動】

- ・ 愛校心や敬愛の念 (4-(7))、役割と責任 (4-(4))、感謝の気持ち (2-(6)) について考える (道徳の時間)
- ・ 話し合い活動 (各教科)
- ・ 活動例B「ようこそ中学校へ」(特別活動) など

※生徒が卒業式や入学式に向けた掲示活動を通してよりよい環境づくりに進んで取り組むことができるよう、中学校に入学する小学生が安心して中学校に入学できることを伝える活動と関連を図ります。

中学校活動例D「教育相談の手法を取り入れた学級づくり」

項目 (イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム) 観点 (①居場所づくり)



【活動内容】

学級活動において協力して活動に取り組めるよう、教育相談の手法の一つである、構成的グループエンカウンター[※]の活動を取り入れます。

- ねらい
- ・話し合いや活動に生徒が安心して参加し、落ち着いて取り組むことができるようにする。【居場所】
 - ・(学級の目標を決めよう) 学級目標を協力してつくり、落ち着いた学級生活を築いていこうとする態度を育む。【特別活動】
 - ・(私たちの学校祭をつくろう) 学校祭に向けた取組について、他の生徒の意見を尊重しながら、よりよい方法を考え、判断し、実践しようとする態度を育む。【特別活動】

対象	第1学年	教育課程上の位置付け	特別活動(学級活動(1)イ)
指導者	学級担任		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等	■主な評価
4月	○学級の目標を決めよう 学級会前の活動「話し合いのレッドカード」	□自分の考えをもち、他の意見を尊重しながら目標を決めるようにさせる。	
	<p>①課題のある話し合いの例について、プリントの文章を読んで、①自分ならどう感じるか、②なぜ、そう感じるか、をワークシートに記述する。 ※文章の例は、話し合いや会話におけるルールが守られていないもの(レッドカード)を3つほど用意する。</p> <p>②ワークシートを基に、グループで自分が書いた内容を発表し、感じたことや気付いたことを話し合う。</p> <p>③各グループが話し合った内容を発表する。</p> <p>④教師が感じたことを伝える。</p> <p>⑤最後に感じたことや気付いたことを発表する。</p>		
	<p>学級会を行う前に「話し合いの基本となるルールを学ぶ」ことをねらいとします。</p>	<p>■よりよい学級づくりのための話し合いの仕方を理解している。【特】</p> <p>■話し合いで安心して自分の考えを述べている。【居】</p>	
9月	○私たちの学校祭をつくろう 学校祭前の活動「みんなでリフレーミング」	学校祭の取組の開始前に「自分の短所が見方を変えれば長所でもあることを知る」「自己肯定感を高める」ことをねらいとします。	「みんなでリフレーミング」のワークシート例
※学校祭を9月末に実施	<p>①短所の見方を変えれば長所となることをリフレーミングということを理解する。</p> <p>②ワークシートに短所とと思っていることを記述する。</p> <p>③ワークシートをペアやグループに渡す。</p> <p>④渡されたワークシートに短所を長所に変換して書き込み、内容を記述した生徒に伝える。</p> <p>⑤最後に感じたことや気付いたことを発表する。</p>		
10月	学校祭後の活動「私たちの得た宝物」		<p>名前 ○○ ○○</p> <p>1 自分のことで短所だと思っているのはどのようなところですか。</p> <p>①がんである。 ②すぐに思ったことを言ってしまう。</p> <p>☆ここまで書いたら友達にわたしましょう。</p> <p>2 友達の短所をリフレーミングしてあげましょう。</p> <p>①自分の意志をしっかりとっている。 ②表現力が豊かである。</p>
	<p>①「学校祭においてみんなのために頑張ったことカード」に自分の氏名を記述する。</p> <p>②カードを隣の生徒に渡す。渡された生徒は、カードの持ち主の活動の様子を想起し、頑張っていたことを記述する。</p> <p>③この作業をグループの中で繰り返す。</p> <p>④自分のカードが戻ってきたらグループで感想を伝える。</p> <p>⑤最後に感じたことや気付いたことを発表する。</p>	<p>学校祭後に「学校行事での各生徒の役割遂行について相互に評価し合い、自己の存在意義や存在価値を確認し合う」ことをねらいとします。</p> <p>■自他の成長や頑張りを意識しながら協力して取り組んでいる。【特】</p> <p>■互いに自分が認められていることを感じている。【居】</p>	
	<p>※構成的グループエンカウンター[※]の内容については「構成的グループエンカウンター事典 國分康孝 國分久子 図書文化」から作成</p>		

※構成的グループエンカウンター[※]の活動の評価は、シェアリングの様子を教師が見取りを行い、指導に生かします。

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 構成的グループエンカウンター[※]は生徒の実態に合わせて実施し、参加を無理強いしません。
- 教育相談の手法はソーシャルスキルトレーニングやピア・サポート活動などもあり、活用するには、実施するねらいを明確にし、教員間の共通理解を図った上で計画的に実施します。また、各教科等で取り入れる場合には、それぞれの手法の特質を生かして各教科等のねらいを達成することが大切であり、実施すること自体がねらいにならないようにします。
- 「居場所づくり」をねらいとしたものであり、生徒が身に付けたスキルを生かして主体的に「絆づくり」に取り組む場を設定します。

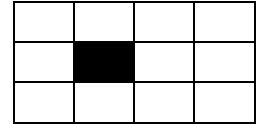
【関連する活動】

- ・友情(2-(3))、思いやり(2-(2))について考える(道徳の時間)
- ・学級や学校の生活づくりに関わる活動や体育大会などの各種行事(特別活動)
- ・活動例E「全町いじめ根絶会議への参加」(特別活動) など

※生徒が協力し合い取組を進めることができるよう、生徒が他の学校の取組を参考に主体的に取組を進める活動と関連を図ります。

中学校活動例E「全町いじめ根絶会議への参加」

項目(イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム) 観点(②絆づくり)



【活動内容】

生徒会が中心に実施するいじめ根絶運動の取組内容を、全町いじめ根絶会議で発表・交流し、取組を充実します。

ねらい ・いじめについての考えの違いを認め合い、支え合いながら、他とかかわろうとすることができる。【絆】
 ・いじめの未然防止に向けた問題を解決する方法について生徒が主体的に考え、判断し、実践しようとする態度を育てる。【特別活動】

対象	全学年	教育課程上の位置付け	特別活動（生徒会活動）
指導者	全教職員		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
4月	○生徒会を中心に、全学級でいじめの未然防止に必要な取組を考え、全校集会で交流する。 ・学級の目標づくりと関連させ、キャッチフレーズと具体的な取組を考える。 ・全校集会で、学級毎にキャッチフレーズと具体的な取組を紹介し、いじめの未然防止に向けた全校的な気運を高める。	□日常的に無理なく継続して取り組むことができる内容を考えるようにさせる。 □参観日における保護者への取組の紹介、生徒会通信、学校だよりなどで関係者に周知を図るようにする。 ■いじめの未然防止に関心をもち、協力しながら自主的・自律的に取り組もうとしている。【特】 ■自分や学級の考えが認められ、学校全体の取組に役立っていることを感じている。【絆】	
5月	全町「いじめ根絶会議①」における各学校の取組交流		
	○全校集会で、全町「いじめ根絶会議①」の内容を報告する。 ・各学校の取組を報告する。 ・「いじめ根絶宣言」の募集について説明する。(5月～6月)	□全町的な取組であることを理解させるとともに、よりよい人間関係づくりを進めることを意識させるようにする。 □「いじめ根絶会議①」の報告を保護者に配布する。	
6月～8月	○生徒会、各学級の代表で「いじめ根絶宣言」案を考え、生徒の話し合いで決定する。	□参画意識を高めるとともに、生徒自身が日頃の言動を振り返る機会となるようにする。 ■いじめの未然防止に向けた取組を振り返り、協力して取り組もうとしている。【特】	
	全町「いじめ根絶会議②」における各学校の「いじめ根絶宣言」の交流 標語・ポスター募集		
	○全校集会で、全町「いじめ根絶会議②」の内容を報告する。 ・「いじめ根絶標語」、「ポスター」の募集について説明する。	□生徒自身にこれまでの状況を振り返らせ、日常的なよりよい人間関係づくりが大切であることを意識させるようにする。 □「いじめ根絶会議②」の報告を保護者に配布する。	
9月	○生徒会が「いじめ根絶標語」、「ポスター」の学校代表作品を選定する。		
	全町「いじめ根絶会議③」における「いじめ根絶標語」、「ポスター」優秀作品の選定		
10月	○個人、各学級、いじめ根絶に向けた全校の取組をまとめる。	□全町会議を機会として、いじめ根絶に向けた意識を一層高めることができるようにする。 ■全町の取組の中で、自分や学級、学校の取組が認められ、町全体の取組に役立っていることを感じている。【絆】	
	全町「いじめ根絶会議④」における各学校の取組紹介、中間報告		

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 生徒が主体的に、よりよい人間関係づくりを大切に、「絆づくり」の取組を実践できるようにするとともに、保護者への啓発活動についても工夫します。
- 全町的な取組と併せて、学校の実態に応じた生徒自身の取組を設定します。
- 全町いじめ根絶会議は、町教育委員会・生徒指導連絡協議会の主催で、児童会・生徒会役員、教員、保護者、地域住民等の参加により定期的に実施します。
- 全町規模での会議の定期的な実施が難しい場合は、中学校区単位での会議を実施します。

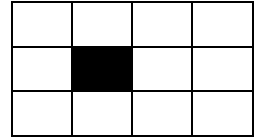
【関連する活動】

- ・話し合い活動の充実(各教科等)
- ・活動例D「教育相談の手法を取り入れた学級づくり」(特別活動)
- ・活動例F「いじめ根絶宣言の掲示」(特別活動) など

※生徒が他の学校の取組を参考に主体的に取組を進めることができるよう、協力して話し合い取組を進める活動や標語やポスターを募集し掲示する活動と関連を図ります。

中学校活動例E②「朝の挨拶運動」

項目(イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム) 観点(②絆づくり)



【活動内容】

生徒会を中心とした「朝の挨拶運動」を継続的に実施し、地域の小学校や住民にも活動を広げます。

ねらい	・進んで挨拶を交わすことで、人間関係やコミュニケーションを自らつくるができるようにする。【絆】 ・他の生徒と協力して、問題を解決する方法を考え、協働して活動に取り組む態度を育む。【特別活動】		
対象	全学年生徒	教育課程上の位置付け	特別活動(生徒会活動)
指導者	生徒会担当、担任を中心とした全教師		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
4月	○生徒会と生活委員会が中心となり、挨拶についての実態調査の結果から、一年間の活動計画を作成する。 ・キャッチフレーズを募集し、生徒の意識と意欲を高める。 ・全校集会で、キャッチフレーズと具体的な取組を紹介し「朝の挨拶運動」を開始する。	□日常生活における挨拶の状況を振り返らせ、課題意識をもたせるようにする。 □参観日における保護者への取組の紹介、生徒会通信、学校だよりで関係者に周知を図ることができるようにする。 □安全面に配慮し、登校中の時間に通学路を中心に挨拶運動を開始させる。 ■「朝の挨拶運動」に関心を持ち、協力して取り組もうとしている。【特】	
5月～7月	○全校集会で、地域住民や小学生からの感想を紹介し、活動を改善・充実する方法について考える。 ・地域住民と小学生の感想を紹介する。 ・感想から課題を見出し、改善の方法を考ながら活動を進める。	□「朝の挨拶運動」の活動の様子を学校通信等で広報する。 □自分たちの取組が、地域や小学生に与えた影響などを知ること、活動に対する意欲を一層高めたり、地域に貢献したりしていることを実感させるようにする。 □小学生の登校時間帯に合わせて活動時間を調整して行わせる。 ■自分達の取組が他者の役に立っていることを実感しながら、友達と協力して活動を進めようとしている。【絆】	
8月～12月	○長期休業明けの全校集会で「朝の挨拶運動」の再開について確認し、1学期に引き続き取組を進める。	□生徒の参画意識を高め、生徒自身が新たな気持ちで「朝の挨拶運動」に取り組もうとする意識を高めるようにする。 ■活動の意義や活動への参加の仕方について理解している。【特】	
	「朝の挨拶運動」推進(ポスターの募集・掲示、集会・校内放送での呼び掛け)		
	○全校集会で、「朝の挨拶運動」の様子を報告し、推進を呼び掛けるポスターを募集する。 ・募集したポスターを校内はもとより、小学校や通学路の町内会の掲示板に掲示させてもらう。	□生徒自身に「朝の挨拶運動」の取組を振り返らせ、日常生活におけるよりよい人間関係づくりに生かせるようにする。 □美術部や学年生徒会等にポスター作成を依頼する。 □ポスターの募集と掲示について学校通信等で呼び掛け、保護者や地域住民等の関心を高める。 ■問題を解決する方法を考え、協力して取り組んでいる。【特】	
1月	○体験入学や地域交流会の機会、地域住民や小学校児童会代表から、「朝の挨拶運動」の感想発表や意見交換を行う。	□地域住民や小学校児童会の代表からの感想をもとに、活動について振り返ることで、地域に与えた影響を実感させるとともに、達成感をもとに、今後もよりよい人間関係・社会づくりに向けた取組への意欲を高めることができるようにする。	
	「朝の挨拶運動」の振り返り(体験入学・地域交流会)		
	■他者とのかかわりの大切さを実感し、進んでよりよい人間関係をつくろうとしている。【絆】		

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 本事例では、「絆づくり」に位置付けていますが、学校や家庭、地域全体で生徒を見守り、安心して学校生活を過ごせるようにすることに重点を置く場合は、「居場所づくり」の活動として位置付けることができます。
- 活動が形骸化しないよう、地域住民や小学校児童の感想などを紹介する機会を定期的に設定し、生徒自身が取組やその意義を振り返りながら活動の工夫・改善を図るようにします。
- 校区内の小学校や町内の登下校時のボランティアの方と連携して取り組むことで、効果を高めるようにします。

【関連する活動】

- ・道徳の時間(基本的な生活習慣1-(1)、礼儀2-(1))について考える。 など

中学校活動例 F 「いじめ根絶宣言の掲示」

項目 (イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム) 観点 (3環境づくり)

〔活動内容〕

生徒会を中心に、いじめ根絶宣言に関して募集・作成した「標語」や「ポスター」等を学校内外に掲示します。

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 「標語」、「ポスター」の作成や掲示を通して、日常的にいじめの未然防止について考える機会を設け、学校・地域のいじめを根絶するという意識を高める。【環境】 いじめのない学校・地域づくりに向け、積極的に取り組もうとする態度を育む【特別活動】 		
対象	全学年	教育課程上の位置付け	特別活動（生徒会活動）
指導者	全教職員		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
4月	○生徒会を中心に、全学級でいじめの未然防止に必要な取組を考え、全校集会で交流する。 ・学級の目標づくりと関連させ、キャッチフレーズ、具体的な取組を考える。	□日常的に無理なく取り組むことができる内容を考えさせる。 □参観日での紹介、生徒会通信、学校だよりの掲載などで保護者等に周知する。 ■いじめの未然防止に関心をもち、学級の他の生徒と協力して活動に取り組もうとしている。【特】	
5月	○「いじめ根絶宣言」の募集について説明する。(5月～6月)	□全町的な取組であることを理解させるとともに、学級・学年・学校内だけでなく、地域においてもよりよい人間関係づくりが必要であること意識させるようにする。	
6月～8月	○生徒の話合いで「いじめ根絶宣言」を決定し、校内や校区内に掲示する。 ○いじめ根絶「標語」、「ポスター」の募集について説明する。 ○学校内の応募作品を掲示する。	□生徒自身に日頃の言動を振り返らせ、学校・地域も含めたよりよい人間関係づくりを意識させるようにする。 ■いじめの未然防止に関心をもち、他の生徒と協力して活動に取り組もうとしている。【特】	
8月	○生徒会が中心となって、いじめ根絶「標語」、「ポスター」を集約し、学校代表作品を選定する。	□学校代表作品を、参観日での紹介、生徒会通信、学校だよりの掲載などで保護者等に周知する。 ■学校生活の充実と向上にふさわしい作品を選び、呼び掛けている。【特】	
9月～次年度7月まで掲示	○学校内の応募作品、全町優秀作品を学校内、校区内に掲示する。	□校内・校区を含めて、地域全体でいじめ根絶に向けた気運を高める環境づくりに向け掲示を工夫するようにする。	
	次年度の「いじめ根絶宣言」が決定するまでの期間、継続して掲示する。 全町「いじめ根絶会議」の際にも、取組について紹介する。		
		■いじめ根絶に向けた継続的な掲示に取り組み、いじめをしないという意識を高めている。【環】	

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 日常的に生徒が目にする機会の多い場所に「標語」や「ポスター」を掲示します。
- 各種の通信や参観日等の機会に保護者や地域にも周知するとともに、「標語」、「ポスター」を校区内に掲示し、地域全体でいじめ根絶に向けた気運を高めるきっかけとなるようにします。
- 年度ごとに途切れることがない継続的な活動となるように、「標語」や「ポスター」は、次年度の「いじめ根絶宣言」が決定するまでの期間、継続して掲示します。
- 在校生だけではなく、新入生への説明会等においても、作成した「標語」や「ポスター」などいじめ根絶に向けた取組を紹介し、いじめ根絶に向けた学校風土づくりに努めます。

【関連する活動】

- ・「主として他の人との関わりに関すること」(道徳の時間)
- ・効果的に伝える工夫(美術科)
- ・活動例E「全町いじめ根絶会議への参加」(特別活動) など

※生徒が標語やポスターを作成・掲示し、協力して活動に取り組むことができるよう、他の学校の取組を参考に主体的に取組を進める活動と関連を図ります。

中学校活動例G「老人福祉施設の訪問」

項目(ウ 社会教育(家庭や地域)と連携した体験活動との関連を図ったプログラム) 観点(①居場所づくり)

【活動内容】

老人福祉施設の訪問での高齢者との触れ合いを計画し、交流を深めます。

- ねらい
- ・高齢者との交流を通して、自分が異なる世代の人の役に立っていること、必要とされていることの大切さや喜びを感じることができる。【居場所】
 - ・高齢者との交流を通して、自分のよさや可能性に気づき、生かして行動する力を身に付けることができる。【総合的な学習の時間】

対象	第2学年	教育課程上の位置付け	総合的な学習の時間
指導者	学級担任、教務担当		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
9月	<p>【課題の設定】</p> <p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の方から入所者の状況などを話してもらう。 ・道徳の時間や特別活動で学んだことと関連を図り、問題の意識化を図る。 <p>○準備活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を収集する。 ・交流会の計画を考える。 ・リハーサルを行う。 	<p>□目標や高齢者との接し方など具体的な計画を作成させる。</p> <p>■高齢者との交流について、疑問や問題点を見付けている。【総】</p> <p>■高齢者との交流に向けた見通しや計画を立てている。【総】</p>	
10月	<p>【情報の収集】</p> <p>○老人福祉施設への訪問</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>〈考えられる活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱、手品、折り紙 等 ・高齢者の体験話 ・施設の方からの講評 </div>	<p>□相手（高齢者）を思いやりながら交流を深めさせる。</p> <p>□高齢者の反応や活動の中で気付いたこと、感じたことを記録しておくよう指導する。</p> <p>□施設の方から生徒のよい点について講評をしてもらう。</p> <p>■交流を通して、自分が役立っていることを感じている。【居】</p> <p>■高齢者の状況に応じて、これまでの学習や経験を生かして接し方を工夫している。【総】</p>	
	<p>【整理・分析】</p> <p>○交流会を振り返る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの感想を交流する。 ・事前に考えていたことの違いや高齢者や施設の方の姿から気付いたことをまとめる。 	<p>□交流会を振り返り、自分たちの活動の意義や成果を確認する。</p> <p>□高齢者や施設職員の思いについて考えさせる。</p> <p>■自分が他から認められ、必要とされる存在であることを感じている。【居】</p> <p>■学んだことを整理する中で新たな疑問や問題点を見出している。【総】</p>	
	<p>【まとめ・表現】</p> <p>○学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校祭に交流した高齢者を招待し、学習の成果を発表する。 ・高齢者から感想を話してもらう。 	<p>□他のグループの発表から参考となるところを見付けさせる。</p> <p>□高齢者の方との再会を通して交流を深めさせる。</p> <p>■高齢者の方の反応から人と交流する喜びを感じている。【居】</p> <p>■相手に伝わるよう、分かりやすく発表している。【総】</p>	

【本活動を行うに当たっての留意点等】

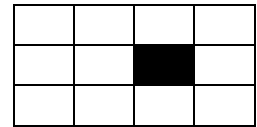
- 「居場所づくり」をねらいとしていることから、次の点に留意して、生徒が主体的に活動できるようにします。
 - ・「老人福祉施設の訪問」では、総合的な学習の時間の目標を踏まえながら、高齢者のことを自ら考え、活動することができるよう指導する。
 - ・「交流会を振り返る」では、生徒に活動を振り返らせ、自己理解を深めさせるとともに、人に認められること、役に立つこと、必要とされることの大切さや喜びを感じさせる。
- 総合的な学習の時間での実施が難しい場合は、保育所訪問や特別支援学校との交流及び共同学習等の生徒が他者とのかかわりを通して学習する機会を活用した取組の実施を検討します。

【関連する活動】

- ・勤労の尊さ・奉仕(4-(5))、思いやり(2-(2))について考える(道徳の時間)
- ・「話すこと・聞くこと」に関わる学習内容(国語)

中学校活動例H「防災マップのプレゼンテーション」

項目 (ウ 社会教育(家庭や地域と連携した体験活動)との関連を図ったプログラム) 観点 (②絆づくり)



【活動内容】

地域の一員として防災意識の向上を図る地域の防災マップを地域住民の助言を受けながら作成し発信します。

ねらい ・友達や地域の人々と協力して活動に取り組むことにより、自他の違いを認め合い、支え合いながら取り組む意欲を高めることができるようにする。【絆】
 ・地域の自然環境のもつよさや災害による危険性に気づき、被害の軽減に向けて行動することができる力を身に付けさせる。【総合的な学習の時間】

対象	第3学年	教育課程上の位置付け	総合的な学習の時間
指導者	学級担任、教務担当		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
5月	【課題の設定】 ○過去に地域で発生した災害や地域の課題について地域の方から話を聞く。 ○自分たちの住む地域の防災施設や危険箇所を調査する。 ○災害時に自分たちが地域の一員としてできることを話し合う。	□防災マップを作成することが、地域の防災意識の向上に役立つことを理解させる。 ■講話から疑問点や問題点を見付けている。【総】 ■防災に関わる資料や校区の状況についての情報を集めている。【総】	
6月	【情報の収集】 ○防災マップの作成 ・話し合いを通じて、自分たちの住む地域の防災マップを作成する。 ・グループで作成したマップや活動を通し、考えたことや地域住民に伝えたいことを話し合う。 ○グループに分かれ参観日で発表し、保護者と災害図上訓練(DIG)を行う。	□現在の地域の様子に過去の災害に関する情報を加え、地図化する。 ■友達の様々な考えを認め合いまとめながら、協力して活動しようとしている。【絆】 ■取り組んだ結果を分かりやすくまとめている。【総】 ■話し合いにより考えを広げたり深めたりしている。【総】 □DIGなどの手法を使い、保護者と一緒に学習し、起こり得る災害と災害時の対応を考えさせる。 ■自分たちの住む地域の災害の危険性について気づき、対策を考えている。【総】	
	【整理・分析】 ○地域の人への説明 ・作成した防災マップを町の自治防災担当者に見てもらい、工夫や改善すべきところの話を聞く。 ・小学校を訪問し、防災マップを使って避難場所や、危険な箇所を説明する。 ・老人ホームを訪問し、防災マップを使って避難場所や、危険な箇所を説明する。	□説明する相手に応じた表現をするよう指導する。 □小学校や老人ホームの方と事前に打ち合わせ、何が必要な情報かを整理させる。 ■仲間や地域の方と協力し、集団の一員として協力して活動することの大切さを感じている。【絆】 ■活動を通して、自他の感じ方や考え方の違いを認め合い、支え合いながら、協力して取り組んでいる。【絆】	
	【まとめ・表現】 ○学習発表会 ・学校祭に協力してくれた人々を招待し、学習の成果を発表する。 ・保護者や地域住民から感想や意見を話してもらう。	□他のグループの発表や保護者や地域の方のお話から、参考となるところを見つけさせる。 ■学んだことを整理する中で新たな疑問や問題点を見出している。【総】 ■相手に伝わるよう、分かりやすく発表している。【総】	

【本活動を行うに当たっての留意点等】

○「絆づくり」をねらいとする活動であることから、多様な視点があることを理解させるとともに、資料の収集や防災マップの作成、プレゼンテーションを行う際に、協同的な活動となるように指導します。
 ○生徒の自己有用感を高めるため、地域の方から生徒の学習の成果が認められていることのできる発表会を実施するとともに、地域の図書館や公民館等で展示させてもらう機会を設けます。
 ○総合的な学習の時間での実施が難しい場合は、生徒が社会とのかかわりを通して学習する機会を活用した取組の実施を検討します。

【関連する活動】

- ・適応と成長及び健康安全（特別活動）
- ・避難訓練（学校行事）
- ・応急手当（保健体育）
- ・勤労の尊さ・奉仕（4-（5））、郷土愛（4-（8））について考える（道徳の時間） など

中学校活動例Ⅰ「地域とともに行う環境づくり」

項目(ウ 社会教育家庭や地域と連携した体験活動との関連を図ったプログラム) 観点(③環境づくり)

〔活動内容〕

地域の人々と一緒に、花壇の整備やゴミ拾いなど、校区内の環境づくりを進めます。

ねらい ・ 地域の人々と協力した校区内の環境の整備を図る取組を通して、学校や地域で落ち着いて生活を送ることができるようになる。【環境】			
対象	生徒会役員・委員、希望する生徒	教育課程上の位置付け	(放課後の活動)
指導者	全教職員		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
5月	○生徒会・ボランティアサークルを中心に活動内容を話し合う。 ○参加を全校生徒に呼び掛ける。 ○活動メンバーが町内会の方などと活動の進め方について打合せを行う。 ○活動に必要なものの準備をする。	□登下校で感じた校区内の様子から必要な活動内容を考えさせる。 □全校生徒に環境整備の趣旨やねらいが伝わるよう、委員会や学級で話し合わせる。 ・ごみの分別方法 ・花壇の分担、清掃区域の分担等 □生徒会の環境委員会とPTAの厚生委員会が協力して、事前に土おこしや物品の仕分けなどの準備を行う。	
6月	(考えられる活動例) ○「フラワーロード整備」 ・町内会の方からの説明を受けながら、花壇の整備のお手伝いをする。 ○「クリーン運動」 ・生徒会環境委員会が計画し、校区内のゴミ拾いを行う。	□作業中に地域の方には挨拶を行うなど積極的にかわるよう指導する。 □生徒が交通安全などの活動のルールを自分たちで確認するようにさせる。 ■他の生徒や地域の方と協力して環境整備に取り組んでいる。【環】	
7月	○報告書を作成し、学校に掲示したり、町内会で回覧するほか、町内会館に掲示してもらう。	□活動に対する地域の方から評価を得る機会を設定する。 ■校区内の環境を維持していくことの必要性を感じ、進んで落ち着いた環境づくりに取り組んでいる。【環】	

報告書(例)(学校の廊下に掲示する)

〇〇町内会の花壇づくりでボランティアしてきました。

〇月〇日、私たちは、〇〇公園の横の.....

今度は、皆さんも一緒にボランティアしませんか! 詳しくは3年〇組〇〇まで(参加者…△△△△・▲▲▲▲)

報告書(例)(町内会で回覧する)

〇〇町内会の皆様へ

〇月〇日、私たちの活動を受け入れていただきありがとうございました。

みんなの感想

貴→.....

健治→.....

希→花壇が通学路なので、毎日みんなが見てくれると思うと嬉しいです。

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 事前にアンケートを行うなど、校区内の環境整備のために必要な取組や自分たちで何が出来るかを考えさせます。
- 保護者や地域に活動内容を知らせ、活動への参加を呼び掛けるなど、活動を理解してもらえよう働き掛けます。
- 生徒会が主体となり、全校生徒で取り組むことにより、学級や学年だけでなく、学校全体や地域も含めた「絆づくり」を目指す取組となるようにします。
- 花壇の整備の活動を「人権の花運動」と連動して実施することを検討します。

【関連する活動】

- ・ボランティア活動(特別活動)
- ・郷土愛(4-(8))について考える(道徳の時間) など

中学校活動例Ⅰ②「いじめ防止イエローリボン運動」

項目(ウ) 社会教育(家庭や地域)と連携した体験活動との関連を図ったプログラム 観点(③環境づくり)

【活動内容】

生徒や教職員が地域の人々と一緒に、いじめを起こさない気持ちを署名やリボンを付けることで示します。

ねらい	・生徒や教職員が地域の人々と協力して、いじめを起こさない気持ちを署名やリボンを付けることで示すことにより、落ち着いて学校生活を送ることができるようにする。【環境】		
対象	希望する生徒	教育課程上の位置付け	(放課後の活動)
指導者	担当教師		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
4月	○生徒総会 ・生徒会書記局が、いじめの撲滅を年間の重要な取組とすることを表明する。	□いじめの撲滅が全生徒や全教師、全ての保護者の願いであることを取組の根拠とすることができるよう、前年度末に「いじめに関するアンケート」を実施し、その結果を踏まえて取組を行う。	
6月	○活動例K「なくそうネットトラブル」 ・高校生や小学生と協力して、いじめやネットトラブルをなくすための方法を考え、メッセージを作成する。	□高校生が作成した資料を活用して、小学生にも分かりやすい内容となるよう工夫してメッセージを作成します。 □いじめやネットトラブルを自分のこととして考え、絶対になくさなくてはならないという意識をもたせるようにする。	
9月	○学校祭 「いじめについて考える公開フォーラム」(※参考「小学校活動例H」)を行う。 ・どのようなことがいじめを防ぐことにつながるかを考える。 ・生徒会が「いじめ防止の運動(署名運動・イエローリボン運動)を開始する」ことを提案し決定する。	□保護者や地域住民にもフォーラムへの参加を呼び掛ける。 □署名運動は、全校生徒と教職員の他、保護者、地域住民にもお願いするため、活動の実施についての関係機関への事前の連絡等については教師が行う。 (連絡の対象) ・町教育委員会 ・校区内の公共機関 ・校区の町内会長 ・学校評議委員 ・民生委員など □当該活動は、自由意思に基づくものであり、参加を強制するものではないことを繰り返して指導する。	
10月以降	○イエローリボンの配付 (活動例) ① いじめの防止に参加協力する署名をお願いします。 ② 署名の際に、 <u>どのような取組を行うのかを短冊に書いてもらう。</u> ③ 生徒会でイエローリボンを配付し、名札の下端に貼付してもらう。	□署名運動で記入してもらった短冊を生徒玄関等に貼り出し、生徒の意思を「見える化」する。(※参考「小学校活動例L」) ■いじめを未然に防止する意思を明確に示すことができる。【環】 □定期的に活動の状況確認を行い、改善に向けた取組を行う。 ・生徒の署名数が増えない→校内放送や集会で呼び掛ける。 ・地域住民の署名が少ない→地域行事で署名運動を行う。 ※署名の状況は生徒会だけでなく教師も確認し、リボンの着用は教師が確認し、必要に応じて指導を行う。	

リボンの例

・児童虐待やいじめの防止のメッセージを込めて呼びかける「オレンジリボン」を活用する方法もあります。



リボンの大きさ:
縦4cm程度
横1cm程度 など
材質:フェルトなど

署名運動の短冊の記入例

あなたは、どのような取組を行いますか？

クラスの人が誰も一人ぼっちにならないように、みんなに声をかけます。

○年○組 □□□□

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 活動内容を学校だよりや生徒会だよりの他、町内会の広報紙で紹介してもらうなど、活動を家庭や地域に広く周知し、理解されるよう働き掛けます。
- 本活動例は、自分がいじめを起こさない気持ちを、取組内容として短冊で示したり、リボンを付けることで示したりする活動を中心に据えているため「環境づくり」に位置付けていますが、「絆づくり」として位置付けることもできます。
- 活動を進める中で、署名の掲示やリボンを付けることがねらいではなく、署名をしたり、リボンを付けたりすることをきっかけに、自分が何ができるかを考え、行動していくことがねらいであることを繰り返し確認します。

【関連する活動】

- ・活動例K「なくそうネットトラブル」
- ・いじめの未然防止に向けた各活動(各教科等、放課後や休日の活動)
- ・自律の精神(1-(3))や友情(2-(3))について考える(道徳の時間) など

※いじめを起こさない気持ちを表すことができるよう、ネットトラブルをなくす方法を考えメッセージで発信する活動と関連を図ります。

中学校活動例J「地域と連携した情報モラル教育」

項目(エ (その他) 道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム) 観点(①居場所づくり)

【活動内容】

インターネットを通じたいじめの防止に向け、情報モラルを身に付け、ネットマナーのポスターを作成します。

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットマナーを理解し、ネットいじめを防止する取組を進め、学校で安心して落ち着いて学ぶことができるようにする。【居場所】 ・ネットマナーやいじめの防止を伝えるデザインを工夫する。【美術】 		
対象	全学年	教育課程上の位置付け	美術 (各教科等)
指導者	全教職員		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
4月	○ネットトラブルの未然防止のための講演会の実施	□学校警察連絡協議会における講演内容や自治体内の生徒指導担当者間の情報交流の内容を踏まえ、ネットトラブルについての具体的な指導を行う。	
5月	○ネットトラブル研修講座の実施 ・ネットトラブルの現状やいじめにつながる内容について高校生から話を聞く。	□高校生が自分たちで作成した「ネットマナーのしおり」を活用しながら、正しい使い方なども含めて説明してもらう。 ■ネットトラブルといじめの問題を自分のこととして捉え、落ち着いて学べる場が大切であることを感じている。【居】	
6月	○携帯マナー講座の実施 ・スマートフォンなどを介したインターネット利用のマナーについて外部講師から話を聞く。	□人権教育、情報モラル教育との関連を図る。 ■スマートフォンや携帯電話を介したインターネット利用のマナーについて理解し、落ち着いて学ぶために適切な使用を心掛ける必要があることを感じている。【居】	
9月	○各教科等で行う情報モラルに関わる指導 ・道徳の時間をはじめ、各教科において、情報モラルに関わる指導を行う。	□私たちの道徳「情報社会の光と影」や中学校道徳読み物資料集「ネット将棋」を活用する。 ■ネット上でのいじめを起こさないため、自分ができることを考え、他者を大切にすることを高めている。【居】	
10月	○生徒会が中心となって自校の携帯ネットマナー三原則の作成 1 相手のことを大切にしよう 2 自分の行為に責任をもとう 3 使う場所をわきまえよう	□全生徒が考えた「いじめ根絶」、「ネットトラブル根絶」に向けたメッセージを参考に、これまでの活動を盛り込んだ内容となるよう考えさせる。	
11月～12月	○美術科におけるポスター作成 ・発表された携帯ネットマナー三原則と「いじめ撲滅」メッセージについてのポスターを作成し、校内や地域に掲示する。	□ポスターカラーやデザイン用ソフトウェアを用いて作成させる。 ■ポスターを通して、いじめ撲滅に向けたメッセージを伝えようとしている。【居】 ■いじめ撲滅、ネットマナーを守ることという伝えたい内容や見る人の気持ちなどをもとに、色彩の効果や造形的な美しさなどを考え表現の構想を練っている。【美】	

【本活動を行うに当たっての留意点等】

○年度の初めと終わりに携帯電話やインターネット利用に関する意識調査を実施し、生徒の実態に応じて地域の警察や通信事業者等の協力を得ながら取組を進めるとともに、生徒の意識の変容を分析し、取組の改善を進めます。
○美術科での指導が難しい場合は、美術科での学習を踏まえ、生徒会の活動として、携帯ネットマナー三原則と「いじめ撲滅」メッセージを校内や地域に発信する取組を進めます。

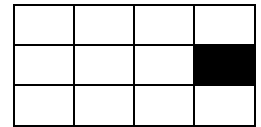
【関連する活動】

- ・情報モラルに関する学習(各教科等)
- ・活動例K「なくそうネットトラブル」(特別活動) など

※生徒がネットマナーを理解し、ネットマナーを守るための取組を進めることができるよう、生徒がネットトラブルの防止に向け話し合い、取り組む活動と関連を図ります。

中学校活動例K 「なくそうネットトラブル」

項目 (エ (その他) 道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム) 観点 (②絆づくり)



〔活動内容〕

小学生や高校生と一緒に、ネットトラブルを防止するための方法を考えます。

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 互いの利用状況等の違いを認め合い、協力し合いながら、トラブルをなくしていく取組を進んで行うことができるようにする。【絆】 ネットトラブルを防止するための方法を話し合い、実践しようとする態度を育む。【特別活動】 		
対象	全学年、(近隣の小学生)	教育課程上の位置付け	特別活動(学級活動(2)ウ)
指導者	全教職員、(小学校の学級担任)		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
5月	○生徒の携帯電話等の情報通信機器の利用状況や使い方について確認する。	□保護者の協力を得て、生徒の情報通信機器の利用状況や家庭でのルールについて情報提供してもらう。	
6月	<p>○ネットトラブルの現状や、いじめにつながる内容について知り、何が良くて何が悪いのか、防ぐためにはどんなことが必要なかを考える。</p> <p>○全生徒がいじめやネットトラブルについて、各自で「いじめ根絶」「ネットトラブル根絶」に向けてメッセージを考える。</p> <p>○家庭や地域での取組も大切であることから、保護者や警察等の関係者にも参加してもらう。</p>	<p>□高校生が自分たちで作成した「ネットマナーのしおり」等を活用して、中学生にも理解できるよう、実例を挙げながら、インターネットを利用する際の正しい使い方や、してはいけないことなどを説明する。</p> <p>■ネットトラブルといじめの問題に関心をもち、なぜ起こるのか自分のこととして考え、解決の方法を考えている。【特】</p> <p>□「いじめやネットトラブルを絶対になくさなければならない」という意識をもたせ、小学生も取り組める内容となるよう考えさせる。</p> <p>■ネットの利用の状況や考え方の違いを認め合いながら、話し合っている。【絆】</p>	
6月	<p>(生徒会による放課後や休日の活動)</p> <p>○生徒会を中心として応募作品を回収し、校内で優秀作品を選出する。</p> <p>○市町村内の小・中学校、高等学校の児童会、生徒会役員が一堂に会し、各学校の作品を持ち寄り、審査を行う。</p> <p>○児童生徒が選んだ作品を町の広報誌に掲載してもらう。</p>	□高校生がリーダーシップを発揮しながら審査を進めることができるよう、事前の打合せを十分に行う。	
	<p>○最優秀作品の活用の仕方について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や地域への紹介 ポスター作成 など 	□生徒会を中心として全校生徒が本取組の目標である「いじめのない環境づくり」を意識して活動できるようにする。	

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 小学校・中学校・高校が共同して取組を進めることができるよう、各学校の担当教員の打合せを十分に行います。
- 事前に各学校で、児童生徒の携帯電話やスマートフォンの利用状況、これまでに困ったことのある経験、保護者の考え方などについて、アンケート等を活用して把握し児童生徒の実態や課題を明確にした上で、小・中・高校で一貫した取組ができるようにします。
- 小学生に分かるような具体的なメッセージを考えたり、リーダーとなる高校生を助けながら話し合いに参加したり地域の中学生としての役割や責任の自覚を促します。

【関連する活動】

- ・活動例L「ネットいじめ防止の意識を高める環境づくり」(美術)
- ・活動例J「地域と連携した情報モラル教育」(美術) など

※生徒がネットトラブルの防止に向け話し合い、取組を進めることができるよう、ネットマナーを理解し守る取組や標語やポスターを作成し掲示する活動と関連を図ります。

中学校活動例L「ネットいじめ防止の意識を高める環境づくり」

項目(エ (その他) 道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム) 観点(③環境づくり)

【活動内容】

ネットいじめをなくすための標語やメッセージを伝えるためのポスターを作成し校内外に掲示します。

ねらい	<p>・標語やポスターを作成し、校内に掲示することで、いじめは絶対に許されないという意識を高める。【環境】</p> <p>・ネットマナーやいじめの防止などの伝えたい内容を伝えるため、分かりやすさなどの表現を考えている。【美術】</p>		
対象	全学年	教育課程上の位置付け	美術 (各教科等)
指導者	学級担任、美術の教科担任		
時期	○活動の概要	□指導上の留意点等 ■主な評価	
11月 ～ 12月	<p>○「いじめ根絶メッセージ」や「ネットトラブルをなくすための標語」を作成し、校内や地域に紹介するためのポスターを制作する。</p> <p>・美術の時間において、グループごとに、生徒が作成したポスターの中から優れたものを選ぶ。</p>	<p>□1年生はポスターカラーを使用したデザインの学習としてポスターを作成させる。</p> <p>□2・3年生はPCのデザイン用のソフトウェアを使用してポスターを作成させる。</p> <p>□メッセージや標語が伝わりやすい画面構成や色使いを考えさせる。</p> <p>□ポスターを掲示する場やポスターを見る対象を想定してデザインさせる。</p> <p>■いじめ撲滅、ネットマナーを守るという内容が伝わるように形や色彩の効果などを考えて構成している。【美】</p>	
1月	<p>○校内や地域にポスターを掲示し、メッセージや標語を普及させることで、いじめのない環境づくりを行う。</p> <p>○掲示した作品を鑑賞し、互いの作品のよい点やメッセージの伝わり方などを交流する。</p>	<p>□どのように掲示すれば自分の思いが伝わるかを考えながら掲示させる。</p> <p>□作品の意図を理解できるよう、画面構成や色づかいなど鑑賞のポイントを設定する。</p> <p>■いじめ根絶に向けた掲示に取り組み、いじめをしないという意識を高めている。【環】</p> <p>■伝えたい目的に合わせてどのように工夫されているのかを感じ取り味わっている。【美】</p>	

【本活動を行うに当たっての留意点等】

- 「メッセージ」や「標語」を自分以外の対象に分かりやすく伝えるためにはどうしたらよいかを考えさせ、ネットトラブルの防止やいじめの根絶についての意識を高めさせます。
- 「相手に理解してもらうためにはどうしたらいいか」、「不快な思いをさせないためにはどんな工夫が必要か」など、伝える相手を意識して作品づくりをすることの大切さを実感させ、日常生活に生かすよう意識させます。
- キャラクター等を使用する場合は、著作権について確認させます。
- 美術科での指導が難しい場合は、美術科での学習を踏まえ、生徒会や学年・学級の活動として、「いじめ根絶メッセージ」や「ネットトラブルをなくすための標語」を校内外に掲示する取組を進めます。

【関連する活動】

- ・信頼友情(2-(3))、思いやり(2-(2))について考える(道徳の時間)
- ・情報モラル学習(技術・家庭科、道徳の時間)
- ・活動例K「なくそうネットトラブル」(特別活動) など

※生徒がネットによるいじめやトラブルの防止に向けた標語やポスターを作成し、校内外に掲示して呼び掛ける取組を進めることができるよう、ネットトラブルの防止に向け話し合い取り組む活動と関連を図ります。